

フォーラム

参加費無料

「地域みんなで育てよう！ 横浜の子ども・青少年」を開催します！

ー自己肯定感を育むために大人ができることー

横浜市では、「子ども、みんなが主役！よこはま わくわくプラン」（横浜市子ども・子育て支援事業計画）を推進するため、地域で子ども・青少年を育てるといふ本プランの理念に基づき、フォーラムを開催し、子ども・子育てを支える機運の醸成を図ります。

今回のフォーラムでは、「子どもの自己肯定感」をテーマに、横浜の子どもたちのために、私たち大人にできることについて、市民の皆様と一緒に考えます。

～2月13日から参加のお申し込みを受け付けます～

1 開催概要

(1) 日時

平成30年3月25日（日）13時30分～16時30分

※開場時間は、12時45分

(2) 会場

横浜市鶴見公会堂

（JR京浜東北線「鶴見駅」徒歩1分、京浜急行線「京急鶴見駅」徒歩5分）

(3) 対象者

横浜市民 200人 ※事前申込制（先着順）

(4) 内容

【第1部】基調講演（70分） 「大切な子どもの自己肯定感。でも…」

講演者：大日向 雅美氏（恵泉女学園大学学長、NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事、
横浜市子ども・子育て会議委員長）

【第2部】パネルディスカッション（90分） 「地域で育む、子どもの自己肯定感」

パネリスト：難波 裕子氏（横浜市子ども・子育て会議市民委員）

五十嵐 京子氏（栄区地域子育て支援拠点 施設長）

角野 智美氏（神奈川区松見保育園長）

土井 純氏（横浜市教育委員会事務局人権教育・児童生徒課 主任指導主事）

林田 育美氏（都筑多文化・青少年交流プラザ 館長）

コメンテーター：大日向 雅美氏

☆託児（無料）あり

時間中、生後6か月から
未就学までのお子さまを
お預かりします。

（先着50人）

※要事前申込

2 申込方法

(1) 申込期間

平成 30 年 2 月 13 日（火）から 3 月 12 日（月）まで

(2) 申込方法

E メール、FAX、電話のいずれかで 下記 (3) 申込必要事項 をご連絡の上、お申し込みください。

【申込先】フォーラム受付事務局（横浜市委託事業者：株式会社ケイ・エム・ビジネス内）

E メール：kosodate@kmb.co.jp

FAX：045 - 441 - 8161

電話：045 - 534 - 8770（土日・祝日を除く 9：00～18：00）

※E メールもしくは FAX にて申し込みいただいた方については、受付後に事務局からご連絡させていただきます。

(3) 申込必要事項

- ①お名前（フリガナ）、②電話番号、③居住区、④手話通訳の希望、
- ⑤託児の希望（お名前（フリガナ）、年齢（月齢）、アレルギーの有無、その他注意してほしいこと）

＜参考＞横浜市子ども・子育て支援事業計画
「子ども、みんなが主役！よこはま わくわくプラン」について
（第 1 期計画期間：平成 27～31 年度の 5 年間）

本計画では、「子ども・青少年にとって」という視点を中心に据えて子ども・青少年はもちろんのこと、子どもたちの育ちを支え、見守る保護者や地域の大人たちも同じく主役だと考えています。

そこで、計画の名称には「子どもたち」が未来に希望を持って毎日楽しく過ごし、「保護者」が子育てを楽しみ、

「地域・社会」が子どもの育つ喜びを共有するという、子どもも大人もみんなが『わくわく』できるような横浜にしたいという思いを込めています。



＜計画の特徴＞

- 「子ども・青少年にとって」の視点を計画の中心に据え、育ちの連続性を大切に、乳幼児期から青少年期に至る成長を長い視点でとらえていくことを念頭に置いて施策・事業を組み立てるとともに、地域全体で子ども・青少年を育てる横浜を目指します。
- 保育所待機児童解消を継続するとともに、保育・教育の質の維持・向上、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業など在宅の子育て家庭への支援、放課後児童施策の充実など、切れ目のない総合的な施策を推進していきます。

なお、本計画は、区役所こども家庭支援課等で閲覧できるほか、概要版を配布しています。また、下記の市ホームページでも閲覧できます。

【HP】<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/shien-new/iken/newplan-public-comment.html>

※当日の取材につきまして、ご協力をお願いいたします。

（取材をしていただける場合は、平成 30 年 3 月 23 日（金）正午までに下記お問合せ先へご連絡ください。）

お問合せ先

こども青少年局 企画調整課長 福嶋 誠也 Tel 045-671-4280